８年たったいま、もう一度考えよう！
～ 保養のこれまでとこれから ～

お話：宇野田陽子さん（「ゆっくりすっぺ in 関西」代表）

とき　2019 年 6 月 15 日（土）　18：00-20：15（受付 17：45～）
ところ　クロスパル高槻　第１会議室 【総合市民交流センター3 階】
（　JR 高槻駅南口すぐ / 阪急高槻市駅徒歩５分　）

あの 2011 年 3・11 東日本大震災-福島第 1 原発大事故から８年がたちました。
直後から、原発事故被災地に住む子どもたちを被ばくの危険から少しでも守るために、全国各地で市民の手による「保養キャンプ」が始まり、その多くはいまも続けられています。
８年経って、「福島は復興している」「放射能の心配はなくなった」といわれ、不安を語ることや賠償を求めることを「わがまま」という人たちもいます。
しかし震災と原発事故の被害を受けた地域の人々に出会うと、今もさまざまな問題が山積していることに気づかされます。こうした状況を、どうとらえたらよいのでしょうか。
福島で起きていることは、日本全体に広がっている格差や差別、排除の風潮とも関係がありそうです。8 年たった今だからこそ、そのような視点から福島について、またこれからの「保養」の意味と役割について語り合いませんか？
これまで保養に関わってこられた方はもちろん、「保養って…？」という方も大歓迎です！

＊宇野田陽子さん プロフィール
福島県の障害のある子どもとその家族を対象とした保養を行う「ゆっくりすっぺ ｉｎ 関西」代表。
鳥取県生まれ。1996 年よりノーニュークス・アジアフォーラムのメンバーとして核も原発もない未来を目指すアジア地域の仲間づくりに関わる。2011 年５月より、福島を中心に毎月東北を訪問し、子どもの遊び場活動、言語聴覚士としての医療支援などに関わってきた。保養を進める関西ネットワーク運営委員。

※資料代 200 円(学生不要)

主催：たかつき保養キャンプ・プロジェクト
〒569-0811 大阪府高槻市東五百住町３-6-24 カフェぽぉ気付
blog：http://takatsukicamp.blog.fc2.com/
mail：hoyou_takatuki@yahoo.co.jp
TEL：080-5638-4638